

1) 交通事業者ヒアリング調査

		鉄道	路線バス・コミバス・カミーリヤバス・御笠自治会バス	民間タクシー	子育て支援(スクールバス・ファミリーサポート)	介護タクシー
利用者からの意見・要望		<ul style="list-style-type: none"> 駅のバリアフリー化・老朽化対策(二日市駅、天拝山駅など) 駅周辺の駐輪場・駐車場対策 乗り継ぎの見直し(鉄道から鉄道、鉄道からバスの乗り継ぎ) 	<ul style="list-style-type: none"> バス全体 <ul style="list-style-type: none"> 遅延改善、増便 乗り継ぎの改善 コミュニティバス「つくし号」 逆回りのコース増設 運賃や支払い方法等の見直し →高齢の利用が多いため、端数を払う際に慌てる人がいる カミーリヤバス カミーリヤバスの乗降ルールの廃止または厳格化 	<ul style="list-style-type: none"> タクシーの確保 →運転士不足のため、猛暑や雨天時の依頼に急行ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポート ・自家用車の運転が不慣れな会員から、送迎に対する不安の声がある 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉タクシー券の配布
事業者が抱える課題	運行面・経営面	<ul style="list-style-type: none"> 職員(乗務員・駅係員・技術員など)不足 エネルギーや原材料の高騰による、費用負担・維持管理費の増加 自然災害による運行休止に伴う収入減少や復旧費用の増加 →激甚化により頻度・負担ともに増加 	<ul style="list-style-type: none"> バス全体 <ul style="list-style-type: none"> 運転士不足 コミュニティバス「つくし号」、カミーリヤバス 車両の更新、入替 	<ul style="list-style-type: none"> 運転士不足 →労働時間も長くなり、急便などの対応が困難な状況 		<ul style="list-style-type: none"> 物価高による経費の高騰 →価格改定により対応
	利用促進・需要創発	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少及び新しい生活様式(テレワーク等、働き方やライフスタイルの多様化)の定着による鉄道利用者の減少 ・移動需要、観光需要の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 西鉄バス ・免許返納者や高齢者、通勤・通学者の利用促進 ・将来的な需要創発 →子どもの頃から公共交通に乗る習慣をつけてもらう(マイレール意識) コミュニティバス「つくし号」、カミーリヤバス、御笠自治会バス ・認知度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 人員不足のため、新しい取り組みに対応できるかは難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポート ・送迎のためにバスを運行することは、費用面的に厳しい ・一般的なバスでは、チャイルドシートに対応していないため利用しにくい ・送迎には、子どもの介助者が必要となる 	<ul style="list-style-type: none"> 介護、福祉タクシーの存在を知らない人が多い ・病院等からも具体的な紹介などはない
	交通事業者相互の連携	<ul style="list-style-type: none"> 二次交通のスムーズな設定 交通事業者相互の連携 →事業者間での乗り継ぎの調整など 	<ul style="list-style-type: none"> 西鉄バス ・JRの鉄道駅との相互案内 コミュニティバス「つくし号」、カミーリヤバス、御笠自治会バス ・市が管理するバス間での事業者同士の意見交換会 	<ul style="list-style-type: none"> 同事業者間での連携はなし(災害緊急時は除く) 		<ul style="list-style-type: none"> 同事業者間で依頼があっても、人数不足などもあり対応ができない
事業を継続するにあたっての将来展望	運行面・経営面	<ul style="list-style-type: none"> 通常業務からメンテナンス作業も含めた各部門における生産性向上 →駅集中管理方式、チケットレスやゲートレス、センシング・モニタリングなどICTを活用したメンテナンスの効率化など ・需要に応じた柔軟なダイヤの設定 	<ul style="list-style-type: none"> バス全体 <ul style="list-style-type: none"> 乗務員の確保 →待遇改善や募集要項の見直し 西鉄バス ・ICTを活用した運行管理の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> 運転士の確保 →待遇改善や外国人労働者の雇用推進 →二種免許の取得支援 	<ul style="list-style-type: none"> スクールバス ・現在、定員の半数程度の利用だが、混乗化は検討していない →運行ルートの需要が少ない ・スクールバス以外での車両の活用についても検討していない ・今後、生徒数の減少に伴い、車両のダウンサイズやタクシーへの転換の必要はある 	
	利用促進・需要創発	<ul style="list-style-type: none"> 物流による鉄道の新たな活用方法の検討 ・日常利用を増加させるための施策の検討 沿線自治体や他事業者と連携した利用促進策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> マイカーに頼らないまちづくり、公共交通体系づくり ・公共交通に関する地道な情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献の一環として、デマンド交通などの運行協力 		
	交通事業者相互の連携	<ul style="list-style-type: none"> 交通ネットワーク全体としての利便性向上 →MaaSの推進による公共交通の利用促進 ・商業施設などとの共同企画による移動需要の創出 	<ul style="list-style-type: none"> バスや鉄道だけでなく、他モビリティ導入も含めた移動しやすいまちづくり(MaaSの活用) ・支払い方法の統一 			
筑紫野市の地域公共交通に対する提案		<ul style="list-style-type: none"> 市民のマイレール意識の醸成、公共交通の積極的な利用促進 →イベント関連での情報提供や連携・協力 沿線も含めた他事業者との話し合いの場の創出 沿線地域の魅力づくりなど来訪者・定住者を増やす取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 利用が少ない地域での代替モビリティへの転換 →コミバスや自治会バスの展開、普及など ・運転士不足等、交通事業者の抱える課題解決や対応等への検討 	<ul style="list-style-type: none"> 一定水準のバス路線の確保 ・車両購入や燃料費の支援 ・人員確保への支援 		<ul style="list-style-type: none"> 免許返納者への福祉タクシー券の配布 ・地域限定の自家用有償運送の普及による、運転手の確保 ・介護、福祉タクシーの周知、広報

2) 主要施設ヒアリング調査

	医療施設	商業施設	カミーリヤ	観光施設
利用者の 来訪手段	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車での来訪が多い →高齢の方でも自分で運転される方が多い ・車いすの方や転院で来られる方は介護タクシーを利用 ・市内だけでなく、市外からも来院される 	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車での来訪が多い →買い物の量があるため、近場でも車を利用される方が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車での来館が多い ・全体(8,000人)のうち 2,000人(1/4)が、カミーリヤバスでの来館 	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車の利用が多い ・鉄道駅からタクシーに乗り継いで来館される方もいる
利用者からの 意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・最寄駅(JR 天拝山駅、西鉄朝倉街道駅)のバリアフリー化 ・バスの乗り入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・増便 ・バスの乗り入れ ・分かりやすいバス停の表示(バス停名の統一) 	<ul style="list-style-type: none"> ■カミーリヤバスについて ・乗りつぎが悪い ・ルートがわからない ・施設の場所等がわからない ・JR 二日市駅での乗り継ぎ時に、乗降場所がコミバスと違うため、困惑する(コミバスは駅内のロータリーに乗り入れているが、カミーリヤバスは乗り入れていないため) ・カミーリヤバスが遅延し、コミバスへの乗り継ぎに間に合わない ・カミーリヤバスとコミバスの使い分けが分かりにくい ・カミーリヤバスの便数が少ない、運行時間があわない 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの確保 ・二日市温泉への増便 ・高速バスの停留所である筑紫野の改善 →階段での昇り降りが厳しい →降車した際の誘導案内が不十分
利用者に対して 実施している 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻表の掲示 ・タクシーへの直通電話の設置 ・送迎サービスは、運転手や車両の確保、事故への対応などが課題となり、検討が進んでいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの乗り入れ依頼 ・配達サービスの実施 ・時刻表の掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・カミーリヤバス以外の送迎はない ・JA がデイサービスを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービスの実施 ・ゆうパックでの配達サービスの実施 ・時刻表の掲示 ・タクシーの手配
筑紫野市の 地域公共交通に 対する意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・最寄駅(JR 天拝山駅、西鉄朝倉街道駅)のバリアフリー化 ・バスの乗り入れ ・増便 	<ul style="list-style-type: none"> ・最寄駅(JR 天拝山駅)のバリアフリー化 ・バスの乗り入れ ・増便 ・コミュニティバス等の分かりやすい告知、広報の実施 ・コミュニティバスの活用 →配達サービスの実施、商業施設との企画の実施 ・他店舗や他自治体で行っている事例紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ■運行について ・円滑な乗り継ぎの実施 ・カミーリヤバスの乗降ルールの見直し ■車両について ・車両の更新 ・車椅子対応の車両の導入 ■運行ルートについて ・馬市地域に経由するルート ・フリー乗降の実施 ・筑紫コース:左回りの運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・二日市温泉への増便 ・施設周遊バス等の運行
地域公共交通との 連携に関する 可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・運行情報などの情報提供スペースの充実化 	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリ等を活用した、クーポン券などの特典の配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設以外にも利用できる、わかりやすい柔軟なシステムの運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携に関する提案があれば検討を行う